

京都マラソン 2026 大会の総括 及び 2027 大会の概要について(報告)

【 2026 大会の総括 】

1 開催結果

	2026 大会	前回 (2025 大会)
日 時	令和 8 年 2 月 15 日 (日) ※2 月第 3 日曜日 (8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了)	令和 7 年 2 月 16 日 (日) 同左
天 気	9 時 (スタート会場) 晴、14.0℃、湿度 55% 15 時 (フィニッシュ会場) 曇、15.4℃、湿度 61%	晴れ、9.0℃、71% 曇り、14.6℃、53%
出走者	マラソン 15,991 人 ペア駅伝 478 人 車いす競技 11 人 計 16,480 人(うち市民 3,596 人) (完走者 15,223 人、完走率 92.4%)	16,774 人 (うち市民 3,663 人) (完走者:15,624 人) (完走率:93.1%)
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 たけびしスタジアム京都 (西京極総合運動公園内) ～ 平安神宮前 (42.195 km) (日本陸上競技連盟、ワールド・アスレティックス及び AIMS [国際マラソン・ディスタンスレース協会] 公認) 2 車いす競技 たけびしスタジアム京都 (西京極総合運動公園内) ～ 嵐山 (6.1 km)	同左
スタッフ数	約 13,000 人	約 13,000 人
応援人数	約 417,500 人	約 397,200 人
おこしやす広場 入場者数	約 25,100 人	約 24,800 人

2 プラチナパートナー(任天堂株式会社)との冠協賛企画

本大会として初導入した冠協賛では、任天堂株式会社のお力添えにより、以下の 7 企画を実施。参加者の満足度はもとより、大会そのものの注目度向上にも寄与した。

- (1) 冠名を配した大会名称及び大会ロゴマークの使用
- (2) アスリートビブス (背面ビブスの復活、マリオとルイージが京都のまちを走るデザイン)
- (3) フォトスポットの新設
- (4) ランナーネームボードの設置
- (5) 手荷物袋の制作・配布
- (6) 「SUPER MARIO BROS.」に関連する音楽の活用
- (7) キャラクターデザインを用いた折り返しタワー (6 基) の設置

3 各取組の概要及び実施結果

(1) 競技運営

より安心・安全かつ円滑な競技運営に向け、各種対策を着実に実施

取組	概要・実施結果
ア 走路対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積雪・凍結時に備え、除雪車等を配備
イ ランナー対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランナーの防寒衣類をスタート後に回収し、リユース・リサイクルへ。
ウ 医療救護対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ RED SEAT アプリの導入 ※救護対象者の位置情報を医療救護担当者と共有するもの。 ・ 京都府医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築 ※AED136 台を配備 ・ AED 配備施設（コース沿道）に協力依頼 ・ 心肺蘇生時の対応を学ぶ「ファーストエイド講習」を実施 ・ 「ファーストエイドサポーター」を募集 ※対象 救命講習を受けたランナー・ボランティア ※登録 15 人（前回 15 人） ・ 緊急時の救護応急拠点となる「高度救急救護車」等を配備 ・ 各救護所に多言語指差しボード（各症状等を図示）を配備 ・ 連絡手段として Zoom を使用 ※救護所、コース沿道の待機救護サポーター、移動救護サポーター、フィニッシュ救護サポーター間 ・ 救護件数 396 件（前回 308 件）、救急搬送 3 件（前回 7 件） ※AED 使用 0 件
エ ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人ボランティアリーダーの配置 ※対象：京都マラソン従事経験があり、リーダーを希望する方 ※講習会参加者数：11 人（前回 14 人） ・ 「ジュニアボランティア」を募集、スタート会場、給水所等への配置 ※対象：小学 5 年生～中学生 1～2 人につき、大人 1 人の組合せ ※94 人参加（前回 81 人）

(2) 交通総量抑制対策等

- ・ 大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、以下の周知を徹底
- ・ 緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行に努め、大会起因の大規模交通渋滞は未発生

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な広報媒体を活用した周知 ・ 大会ホームページ、市民しんぶん、チラシ、ポスター、歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告、各種デジタルサイネージ、バス停大型広告等 ・ 広域迂回・直近誘導対策等を実施
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市バス無料乗車券（※）の配布、路線バス利用促進の広報 ※16,788 枚の利用（前回 14,081 枚）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料シャトルタクシーの運行 ※7 路線で実施、1,136 人が利用（前回 965 人）
ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府警察・消防局等と連携したランナーストップ体制の構築 ※ランナーストップの実施なし ・ 大会本部、消防指令センター、警察本部間の専用回線の設置及び人員配置等により、緊急車両通行時の連絡体制を確立

(3) 沿道住民合意形成

- ・ コース沿道等の住民・事業者に対し、チラシ等を各戸配布
- ・ 「横断対策島方式」の設置等によるコース横断対策の実施
- ・ 速やかな交通規制解除のため、時間制限関門を設置

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道住民・事業者（128,000 世帯）への交通規制マップ等の配布 ・ 市民しんぶん（挟み込み）や各施設等へのチラシ配布による周知
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「横断対策島方式」の設置（13 箇所） ・ ランナーの切れ目でのコース横断の実施
ウ 交通規制開始・解除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 速やかな交通規制解除のための時間制限関門の設置（8 箇所） ・ 大会ホームページを通じ、規制解除情報を逐次発表 ・ 関門閉鎖後の走路上のランナー等を速やかに歩道へ誘導するため、競技役員による指導を強化

(4) メインコンセプトの具現化、ランナーサービスなど

- ・ 以下の取組により、大会のメインコンセプトの具現化に努めた。
- ・ 地域各団体・市民の御協力で、京都ならではの温かいおもてなしや応援を展開

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化	
(7) 「DO YOU KYOTO? マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスリートビブス引換証の電子化 ・ 「ノーマイカーデー」の設定（大会当日） ・ 燃料電池自動車の導入（大会車両の一部） ・ リユースごみ箱（600 個）の活用 ・ 給水・給食残物品のフードバンク、こども食堂、福祉施設等への提供 ・ リサイクル金メダル（※）の優勝者への贈呈 ※使用済小型家電から抽出した金を活用したもの。 ・ ボランティア・スタッフウェアを回収、クリーニング、再利用 ※6,417 着回収（前回 6,291 着） ・ 看板等使用資材の再利用 ・ 給水の紙コップ削減のためのオリジナルマイカップの導入 ※3,717 個販売（前回 2,515 個） ・ 大会公式プログラム、応援ガイド、参加案内等の WEB 化【充実】 ・ おこしやす広場にて、使用済み衣服回収を実施 ※50.0kg（200 着分）（前回 104.35kg） ・ 生ごみの飼料化（おこしやす広場、おつかれさま広場） ※約 80kg（前回約 70 kg）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコ素材の手袋の作成（ハイタッチゾーンで配布） ・ 出走記念タオルを環境配慮型タオルに変更【新規】
(イ) 「みんなが主役」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「京都マラソンアプリ」の導入 ・ 団体ボランティアにおける団体名記載の腕章、帽子着用の実施 ・ ハイタッチゾーンの設定、オフィシャルグッズの EC サイト販売、商店街・店舗での盛り上げ企画の実施（15 商店街） ・ ゼスト御池でのオフィシャルグッズ販売（大会当日のみ）
イ ランナーサービス	
(フ) エントリー・ランナー受付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内ランナーの参加料について、市民・市民以外で二段階料金を設定【新規】 ※京都市民（18,500 円）と市民以外（19,500 円） ・ 京都市民枠の増（1,200 人→1,600 人）【充実】 ・ ボランティア経験者枠、サブ 3.5・サブ 4 応援枠の廃止 ・ ふるさと納税枠（出走権）への追加特典（※）付与【充実】 ※ランナーエリア家族パス等 ・ 参加料ふるさと納税払いの実施 ・ アスリートビブスの充実（背面ビブスの復活、マリオとルイージが京都のまちを走るデザイン）【充実】（再掲） ・ 手荷物袋の制作・配布【充実】（再掲）
(イ) 多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な案内看板の多言語表示（日本語・英語・繁体字・簡体字） ・ 大型映像装置（たけびしスタジアム京都）での多言語案内及び手話通訳表示
(ウ) スタート前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市バス運行（京都駅→スタート会場） ※32 台 ・ 「SUPER MARIO BROS.」に関連する音楽の活用【新規】（再掲）
(エ) フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィニッシャータオルを出走記念タオルに変更し、大会当日出走したランナー全員に提供【充実】 ・ 「ポカリスエット」、「京都米おにぎり」、「茶の菓」、「ボディメンテゼリー」の提供（全ランナー） ・ ランナー参加案内における銭湯の紹介 ・ シャトルバスの運行（フィニッシュ会場→烏丸御池駅） ※60 台
(オ) 京都ならではのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外ランナー参加記念品の提供（「オリジナル風呂敷」） ・ 給食として「七福天巻き」を追加【新規】 ・ 伝統的な技術、技法を活かしたメダルリボン等の提供 上位入賞者メダルリボン（京くみひも、京友禅） 完走メダルのリボン（京友禅柄） ペア駅伝のタスキ（西陣織） ・ コース周辺の観光名所案内サインを設置
(カ) 表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ランナー賞「京（みやこ）トップ 8（エイト）」の設定 ・ 特別記録証の発行などのランナーサービスを提供する「マラソンチャレンジカップ（MCC）」への参画

ウ 応援・大会盛り上げ	
(ア) 市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道盛り上げ隊 (13 箇所 34 団体)、市内 15 商店街による沿道応援 ・ 車いす競技フィニッシュ会場におけるおもてなし (東嵐会) ・ フィニッシュ会場 (ルーム・スクエア) における地元飲食店による応援者向け飲食屋台の設置 ・ ランナーの位置を地図上に表示するアプリ「応援 navi」の導入 ・ ハイタッチゾーンの設置 (粟原堤、北大路橋西詰南)
(イ) おこしやす広場 (みやこめッセ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統工芸の職人による実演・体験を実施 ※「公益財団法人京都伝統産業交流センター」との連携 ・ 京都の名店等による飲食屋台、裏千家によるお茶席等京都ならではのおもてなしの実施 ・ フォトスポット【新規】(再掲) ・ ランナーネームボード【充実】(再掲) ・ 「SUPER MARIO BROS.」に関連する音楽の活用【新規】(再掲)
(ウ) 応援大使・ゲストランナー等	<ul style="list-style-type: none"> ・ DMHC (ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー) チャリティーランナーとして 27 名の方々が出走。おこしやす広場で募金を実施 ・ 島袋勉氏がペア駅伝出走 ・ 原邦夫氏がフルマラソン出走 ・ 山中伸弥氏がフルマラソン出走 ・ 特別ゲストランナーとして福土加代子氏がペア駅伝出走 ・ スタートセレモニー及びフィニッシュ会場での盛り上げ、沿道での応援
(エ) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターデザインを用いた折り返しタワーの設置【新規】(再掲)

(5) 広報・放送実績

取組	概要・実施結果
ア 大会前	
(ア) 市民しんぶん 区版 (1/15 号) 全市版 (2/1 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通規制時間、路線バス・無料シャトルタクシー運行情報 ・ おこしやす広場の紹介・山中伸弥氏メッセージ 等
(イ) 一般紙 (京都新聞)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/23 (土) ~ ランナー募集 (Web) ・ 9/2 (火) ~ ボランティア募集 (Web) ・ 2/14 (土) 交通規制等周知 ・ 2/15 (日) 開催周知
(ウ) ラジオ (α-STATION)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通規制告知スポット CM (2/1 (日) ~2/14 (土)) ・ カウントダウン告知放送 (1/26 (月) ~2/14 (土)) ・ 2/14(土)14:00~19:00 公開生放送 (@おこしやす広場)
イ 大会当日 (2/15(日))	
(ア) テレビ (KBS 京都)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8:30~ 9:25 スタートの様子 (生中継) ・ 12:30~13:25 フィニッシュの様子 (生中継) ・ 21:00~21:55 大会ダイジェスト
(イ) ラジオ (α-STATION)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会当日午前 5 時に予定どおり大会を開催する旨を放送
(ウ) ラジオ (KBS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会当日午前 6 時 10 分ごろに予定どおり大会を開催する旨を放送

4 事業決算・経済効果等

(1) 事業決算

【収入の部】

- ① 協賛金収入については、企業等への積極的な働きかけの結果、プラチナパートナー（冠協賛）をはじめ新たな協賛企業を獲得することができた。令和7年度の協賛金収入（市会計で収入した協賛金収入含む）は、撤退・減額を含め、令和6年度比で約7千5百万円増加（2025大会 205百万円 ⇒ 2026大会 280百万円）。
- ② 国内・国外ともに参加料を値上げしたこと、海外ランナーが前回大会より多く参加されたことにより、参加料収入が増加（2025大会 347百万円 ⇒ 2026大会 382百万円）。
- ③ 収支改善に取り組んだことで、京都市からの「負担金収入」は前回大会に比べ減少（2025大会 123百万円 ⇒ 2026大会 110百万円）。京都市スポーツ振興基金からの取り崩しを行わなかったほか、当初予算で5千万円措置された一般財源は1千万円程度に執行抑制した。

(2026大会)

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引(予算-決算)	備考
負担金収入	124,170	110,381	13,789	・京都市からの負担金の減 (財源の内訳) toto助成金 12,000 スポーツ振興基金 0 一般財源※ 98,381 ※市会計で収入した協賛金収入含む
協賛金収入	194,000	192,783	1,217	—
参加料収入	381,930	381,921	9	—
諸収入	41,900	41,853	47	・オリジナルグッズ販売代金、出展料等
合計	742,000	726,938	15,062	

【支出の部】

運営方法の見直しによる大会運営費の抑制など諸経費の削減に最大限努めたものの、物価、人件費の高騰、海外ランナー獲得プロモーションの実施などの新たな取組により、支出総額は前回大会比で増加。

※安全対策費：2025大会 235百万円⇒2026大会 240百万円

※広報・イベント関係費：2025大会 87百万円⇒2026大会 93百万円

※支出総額：2025大会 709百万円⇒2026大会 726百万円

(2026大会)

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引(予算-決算)	備考
大会運営費	318,000	311,822	6,178	・海外ランナー増加に伴う制作物品数の増など
安全対策費	248,900	240,095	8,805	・警備人件費の増など
広報・イベント 関係費	93,700	93,687	13	・おこしやす広場におけるフォトスポットの設置など
エントリー ・記録関係費	56,400	56,398	2	・背面ビブス制作費など
実行委員会 運営費	25,000	24,936	64	
合計	742,000	726,938	15,062	

(2) 経済効果等

- ・ 京都市内における経済波及効果は、推計で総額約 58 億 5,300 万円（前回は 8,500 万円増）となった。※開催事業費（約 7 億 2,694 万円）の約 8.1 倍
- ・ 市税増収効果は、推計で約 1 億 6,000 万円となった。

【参考】経済効果等の推移（※第 10 回、第 11 回大会はオンライン大会のため推計なし）

	経済波及効果	市税増収効果
第 1 回大会（2012 年）	40 億 8,300 万円	1 億 100 万円
第 2 回大会（2013 年）	35 億 4,600 万円	8,700 万円
第 3 回大会（2014 年）	41 億 4,400 万円	9,800 万円
第 4 回大会（2015 年）	45 億 9,400 万円	9,900 万円
第 5 回大会（2016 年）	46 億 500 万円	1 億 200 万円
第 6 回大会（2017 年）	49 億 100 万円	1 億 900 万円
第 7 回大会（2018 年）	49 億 9,000 万円	1 億 1,800 万円
第 8 回大会（2019 年）	51 億 5,900 万円	1 億 2,000 万円
第 9 回大会（2020 年）	42 億 7,600 万円	1 億円
第 12 回大会（2023 年）	43 億 8,000 万円	1 億 2,000 万円
第 13 回大会（2024 年）	51 億 500 万円	1 億 4,600 万円
第 14 回大会（2025 年）	57 億 6,800 万円	1 億 5,300 万円
第 15 回大会（2026 年）	58 億 5,300 万円	1 億 6,000 万円

【 2027 大会実施の概要 】

1 大会実施要項

大会名称	京都マラソン 2027 (英文名: KYOTO MARATHON 2027)						
メインコンセプト	「DO YOU KYOTO? マラソン」 「みんなが主役」						
趣 旨	1 市民スポーツの振興 2 京都の魅力の国内外への発信 3 京都のまちの活性化						
主 催	京都市、一般財団法人京都陸上競技協会						
共 催	京都市体育振興会連合会、京都新聞、KBS 京都、α-STATION						
企画・運営	京都マラソン実行委員会						
主 管	一般財団法人京都陸上競技協会						
運営協力	一般社団法人京都障害者スポーツ振興会、京都市スポーツ推進委員会、一般社団法人京都府医師会、一般社団法人京都私立病院協会、地方独立行政法人京都市立病院機構、公益社団法人京都府看護協会、京都府救急救命士会、京都橘大学、明治国際医療大学、京都市地域女性連合会、京都ランニング連合会 (予定)						
後 援	AIMS (国際マラソン・ディスタンスレース協会)、公益財団法人日本陸上競技連盟、スポーツ庁、観光庁、京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、公益財団法人京都市スポーツ協会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、公益社団法人京都市観光協会、京都商店連盟、NHK 京都放送局、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、共同通信社京都支局、時事通信社京都総局、J:COM 京都みやびじょん (予定)						
種 目	1 マラソン (42.195 km) 2 ペア駅伝 (1 区 27.6 km、2 区 14.6 km) 3 車いす競技 (6.1 km)						
開催日時	令和 9 (2027) 年 2 月 21 日 (日) <table style="border: none; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">8:55</td> <td>車いす競技スタート</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">9:00</td> <td>マラソン・ペア駅伝スタート</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">15:00</td> <td>マラソン・ペア駅伝終了</td> </tr> </table>	8:55	車いす競技スタート	9:00	マラソン・ペア駅伝スタート	15:00	マラソン・ペア駅伝終了
8:55	車いす競技スタート						
9:00	マラソン・ペア駅伝スタート						
15:00	マラソン・ペア駅伝終了						
定 員	1 マラソン 16,000 名 2 ペア駅伝 250 組 500 名 3 車いす競技 20 名 ※主催者が推薦する競技者等を含む						
制限時間	マラソン・ペア駅伝 6 時間 ※制限時間の基準: 号砲						
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 スタート (西京極総合運動公園)、フィニッシュ (平安神宮前) ※日本陸上競技連盟公認、WA/AIMS 認証コース ※ペア駅伝は府立植物園内を中継点とする。 2 車いす競技 スタート (西京極総合運動公園)、フィニッシュ (嵐山)						

時間制限関門	交通・警備、競技運営上、時間制限関門を設ける。 関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させることがある。
競技規則	2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
表彰	1 マラソン (1) 総合男女 各1位～20位 (2) 総合年代別男女(5歳刻み) 各1位～3位 (3) 京 ^{みやこ} トップ8 ^{エイト} 京都市民の男女各1位～8位 ※(1)の4位以下及び(2)(3)は、表彰式を行わず賞状等は後日送付とする。(予定) ※ペア駅伝の表彰は行わない。 2 車いす競技 1位～3位
参加資格	1 マラソン・ペア駅伝 ※車いすでの参加は不可 (1) 平成20(2008)年4月1日以前に生まれた方 (2) 6時間以内に完走できる方 2 車いす競技 身体障害者福祉法(昭和24年法律283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた車いすの使用者(令和9年2月21日現在)で、京都障害者スポーツ振興会が推薦し、主催者が認めた方
参加申込	インターネットにより受け付ける。 ※定員を超えた場合は抽選を行う。
参加料	1 マラソン 国内(市内) 18,500円 国内(市外) 19,500円 海外 35,000円 2 ペア駅伝(1組2名) 34,000円 3 車いす競技 3,000円
ランナー受付	日程: 令和9年2月19日(金)、20日(土) ※大会当日(2月21日)の受付は原則行わない。 ※受付時に身分証明書等による本人確認を行う(代理受付不可)。 会場: 京都市勧業館「みやこめっせ」
その他	1 出走は、大会参加申込者本人に限る(代理出走の禁止)。 2 仮装して参加することは認めない。また、大会会場及びコース上において、会社名、商品名等を意味する図案及び商標等の広告的なものを身に着けたり、表示することを認めない。 3 京都市スポーツ振興基金への寄付金を任意で受け付ける(一口1,000円)。

2 ランナー募集要項(骨子)

「京都マラソン 2026」のランナー募集においては、ランナー募集期間の延長などにより混乱を招き、ランナーをはじめ多くの皆様から御意見をいただいた。これを踏まえ、「京都マラソン 2027」におけるランナー募集では、国内枠の申込受付期間を延長しないことを徹底するとともに、以下のとおり改善を行う。

- ① ランナー募集に係るスケジュールの事前公表
- ② 国内ランナー枠と海外ランナー枠の定員の明示
- ③ 追加募集時（国内ランナー枠）については、落選者を対象に抽選

(1) スケジュール

7月 8日 (水)	ランナー募集要項の発表
7月16日 (木)	ランナー募集の開始
8月31日 (月)	国内ランナー枠 (抽選) の募集締切
9月30日 (水)	海外ランナー枠 (先着) の募集締切
10月 5日 (月)	抽選結果 (国内ランナー枠) の発表 (予定)
10月19日 (月)	参加料の入金締切 (予定)
10月21日 (水)	落選者 (国内ランナー枠) を対象とした追加抽選実施の有無の発表 (予定)
10月26日 (月)	追加抽選結果 (国内ランナー枠) の発表 (予定) ※追加抽選実施時
10月28日 (水)	ふるさと納税枠の入金受付の締切
11月 2日 (月)	追加抽選当選者 (国内ランナー枠) の入金締切 (予定)
11月 6日 (金)	ふるさと納税枠の参加料入金締切

(2) 募集枠

ア マラソン・ペア駅伝 (総定員：マラソン 16,000 人、ペア駅伝 250 組 500 人)

(ア) 国内ランナー枠	
a 一般枠 (抽選)	マラソン 10,640 人、ペア駅伝 150 組 300 人
b 京都市民枠 (抽選)	マラソン 1,600 人、ペア駅伝 80 組 160 人
c ふるさと納税枠 (先着)	マラソン 760 人、ペア駅伝 20 組 40 人
(イ) 海外ランナー枠 (先着)	マラソン 3,000 人

イ 車いす競技 (定員：20 人)

※上記 a は、定員数を超えた場合は抽選とする。
※上記 b に落選した方は自動的に一般枠の抽選に回る。
※上記 (イ) が定員に達しなかった場合は、余剰分を一般枠に充てる。
※上記 (イ) の対象者は、申込時点で「日本国外に居住する者」とする。

(3) 募集期間

- ア 国内枠 令和8年7月16日 (木) ~8月31日 (月)
イ 海外枠 令和8年7月16日 (木) ~9月30日 (水)

(4) 参加料

種目	金額
マラソン（国内）市内	18,500 円
マラソン（国内）市外	19,500 円
マラソン（海外）	35,000 円
ペア駅伝（2名1組）	34,000 円
車いす競技	3,000 円

3 2027 大会での新たな取組

【魅力向上等に資する取組】

1 ファンミーティングの企画・実施

ア 目的

大会の更なる魅力向上を図るとともに、市民が大会の意義に共感され、大会への参画意欲が高まる仕組みを設計するため。

イ スケジュール案

- ・ファンの抽出（6月頃）
- ・ファンミーティングの開催（7～9月頃）
- ・走る人、走らない人双方にとっての京都マラソンの魅力向上策等の提案（10月頃）

2 「ファンラン」(※)の企画・実施

ランニング習慣の普及とライトファンの拡大などのため、親子連れなどを対象にした企画を検討中。

※ファンラン：タイムや距離を競うのではなく、楽しみながら走ることを目的とする体験型ランニングイベント

4 協賛獲得(プラチナパートナー)に係る動き

冠名称を「SUPER MARIO BROS. 40TH」としていたとおり、任天堂株式会社による「京都マラソン2026」への特別協賛はスーパーマリオブラザーズ40周年を機に実施されたものであり、次回大会での協賛継続は、そのほかの協賛ランクを含めて見送りとなった。

引き続き、新たなプラチナパートナー獲得に向け、企業等への積極的な働きかけを行い、そのニーズに応じた協賛メリットの付与を図ることなどを通じて、その獲得を目指す。